

10月31日(月)

本当の正義を広める

聖書朗読 ゼカリヤ7:8~14

万軍の主はこう仰せられる。「正しい裁きを行い、互いに誠実を尽くし、あわれみ合え。
ゼカリヤ7:9

聖書を開く度に、私たちが新しい物事を見つけることができるというのは、なんと驚くべきことでしょう。私はよく、目の前のページから「新しい」物事が飛び出してくるかのように見えて驚きます。今年は、旧約聖書における迫害されている人、父親のいない人、やもめ、貧しい人、困窮者、寄留者、外国人といった言葉の使い方に感銘を受けてきました。

今日の聖書箇所によると、ゼカリヤの時代には、正義が渴望されていました。本当の正義です。個人への対応に正義が必要とされていました。人々には真の優しさと憐れみが必要だったのです。

神様の教えに対して、イスラエル人が頑固に耳を塞ぎ、心を頑なにし、御言葉を拒絶するという結果に終わりました。神様の怒りは神の民への懲らしめという結果をもたらしました。

私たちにとって、身の回りのホームレスや、迫害されている人、貧しい人、困窮している寄留者に対して目を塞ぎ、心を頑なにし、耳を塞ぐことはあまりにも簡単です。私たちはどれほど彼らを見ないでいられるのでしょうか？ 誰か困窮している人を見かけた時、イエス様の優しさと憐れみが私たちにとって本当の正義への導きとなってくれるように祈りましょう。

世界的な正義はひとりへの優しさと憐れみの行動から始まるのです。モンロー

讃美歌 II83

祈り 親愛なる主よ、私たちの目を、耳を、そして心を自分の周りの必要に向けて開いてください、そして私たちがそこに変化をもたらすことができますように。私たちの必要のためにご自身のすべてを与えてくださった方の御名によって祈ります。アーメン

ブルース・M・ヘンダーソン
ネヴァダ州カーソンシティ

今日の花

2022年10月31日～11月6日

翻訳 鈴木 慈久

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

11月1日(火)

イエス様が喜ばれる贈物とは？

聖書朗読 マタイ 26:6～13

人の贈り物はその人のために道を開き、高貴な人の前にも彼を導く。箴言 18:16

あなたはこれまでに、気前が良い、そして思いがけない贈り物を受け取ったことがありますか？ もっとすごいことに、その贈り物がまさにその時の自分に必要なものだったことは？ さらには、そのような贈り物の贈り手になったことはありますか？ 思いがけない贈り物を贈って、受け取った人があなたの思っている以上に感動し、その方の目に涙をもたらしたならば、それは、あなたの人生の中でも大きな喜びの一つでしょう。では、そのような贈り物をイエス様に贈ることを想像してみましよう。意義深い贈り物をイエス様に贈る？ そんなことが可能なのでしょうか？ 今日の聖書の箇所では、それが可能であることを私たちにはっきりと教えています。しかし、イエス様の弟子たちはそれを理解しませんでした。彼らはそれを嘲笑いすらしめたのです。この女性は、この気前の良すぎる恐ろしく高価な贈り物（約300デナリの香油）*がイエス様にとって非常に意義深いものになることを理解していました。彼女はその贈り物が他人からどう見られるかということは気にしませんでした。彼女は自分の愛を、並外れた愛を、高価な香油による貴重な贈り物を通じて表現することを望んだのです。彼女はそれがイエス様の埋葬への備えであることを知っていたのでしょうか？ イエス様は自分の埋葬のためにしたと思いました——彼女はそのためにも香油を注いだのだと。*300デナリは、一デナリが一日の労働賃金なので、その三百倍ということで300万円となります。

なんと素晴らしく、驚くべき贈り物でしょうか！ 実際に、イエス様は私たちにこの出来事を語り継いでいくようにと言われました。そうです——イエス様は私たちのことを私たちが想像する以上に愛してくださっています。イエス様に気前の良すぎる、並外れた愛をお返しするのは当然と言えば当然なのです。どうやって？ イエス様は、「わたしの羊を飼いなさい」と仰っています。それは、つまり、隣人を愛することではないでしょうか。主の御前にへりくだり、人々を主に導きお仕えすることです。

讃美歌 544

祈り 親愛なる主よ、私たちがあなたを愛することは、人々に仕えることによって示されます。そのようなすばらしい特権を与えられていますことを感謝します。私たちがそのような行動がとれるとき、周りの人たちが私たちのあなたへの深い愛を見ることができるよう。イエス様の御名により。アーメン。

アール・D・ラヴェンダー
テネシー州 プレントウッド

11月2日(水)

「崖っぷち」における信仰の祈り

聖書朗読 マルコ 9:14～29

あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。 エペソ 2:8

偉大な信仰を持つ人々は、自分たちの信仰がすごいなどと思っていない人たちです。

人生における本当の悲劇の一つが友人に起こったとき、この信仰の偉人たちは神様からのかけがえのない贈り物になります。彼らは苦しむ人の所に駆けつけ、その人を抱きしめます。しかし、言葉の雨を降らせたり、見せかけの決まり文句を言ったりはしません。彼らの心からのハグや温かい涙は交じり合って、聖霊の香りへと変化します。

私たちが自分自身の力不足や薄っぺらい信仰を深く実感する時、主ご自身が私たちの中で働いてくださることを深く実感できるのかもしれませんが。ですから、マルコ9章では、困難の内にある息子をどうしているかわからず、絶望した父親がイエス様に癒しを願った時、その人が自分の信仰のなさを告白した時、キリストの御力への扉を開いたのです。

私たちはこの「崖っぷち」の状況にいる父親が彼自身と私たちの信仰のなさを表わしていることに感動すら覚えます。「信じます。不信仰な私をお助けください。」キリストは父親にも息子にも、まさに必要な贈り物を贈りました。つまり、私たちの信仰は小さいかもしれませんが、救い主の愛は想像を超えて大きいのです。

讃美歌 268

祈り 親愛なる主よ、今日、私たちはこの父親以上の祈りを捧げられるでしょうか。私たちはどんな時でも、絶えずあなたを信じるために、絶えずあなたの助けが必要なのです。イエス様の御名によって。アーメン。

カーティス・K・シェルバーン
テキサス州 ミュルショール

11月3日(木)

どのように、そして何のために

聖書朗読 ルカ 11:1~13

主はすべてのことについて、理解する力をあなたに必ず与えてくださいます。

Ⅱテモテ 2:7

学ぶことと理解することはしばしば、全く異なるものです。私たちは時には明確な方針や目的を持って学び進みます。また、時にはむしろ人間ピンボールのように、いろいろなところにぶつかって痛い目に遭いながら歩みます。ある時は、必然的に学び、またある時は、自分から学ぶことを選択します。私たちの日々の挑戦は、日々の生活や経験を通して学んだことをその背後にある重要な理由に結びつけることです。なぜ、私たちはそれらをするのかということを考えて生きていくことがとても重要です。

私たちの多くは、日々、それほど深く考えないで日々の生活をこなすようになっていませんか。それは、日々のルーティンに沿って生きていく、ある意味ロボットのような機械的な行動をしてしまいがちです。そして、私たちの祈りもしばしばそれと同じように、ルーティン化したことばの羅列で終わってしまっていないでしょうか。

イエス様が弟子たちに祈りを教えた時、イエス様はどのように祈ったらよいかを順番に教えて下さいました。最初に、イエス様は神様を心から讃美しました。それから願い事をしました。この順番で私たちは神様に自分たちの必要を伝えることができます。神様は、私たちに全てを備えて下さり、私たちに絶えず誠実に接して下さいます。私たちの神様との会話も同じであるべきです。私たちが絶えず心から祈ることによって、私たちは神様の業を理解し、神様のお働きがどんなに尊いものであるかを益々知ることができるのです。

また、イエス様は、私たちと神様の関係の中で「赦し」が欠かせない要素であることを強調しています。祈りを通して、私たちは神様に自分たちを赦して下さるようお願いします。誰かを赦すことができるようになるために、私たちはまず、自分たちがイエス様の十字架によって赦されていることをはっきりと分かることが必要です。神様と共にいると、まず神様がなぜこうしたかを考えることができます。そして、そのために私たちはどうしたら良いかに思いを馳せることができるのです。

讃美歌 270

祈り 親愛なる主よ、私たちが、すべての行いにおいて、まずあなたを讃美しあなたに栄光を帰すために、知恵と求める心をください。イエス様の御名により。アーメン。

ランディ・ロバーツ
ニューメキシコ州グランツ

11月4日(金)

あなたはどこに視点をおきますか？

聖書朗読 ルカ 11:33~36

あなたがたは、以前は暗やみでしたが、今は、主にあつて、光となりました。光の子どもらしく歩みなさい。——光の結ぶ実は、あらゆる善意と正義と真実なのです。
エペソ 5:8~9

あなたは岩と難所の間に挟まれたことはありますか？ そこから引き返す道はありません。私たちのだれもが、そのような嵐に直面します。私たちはどのようにして、困難な時の中で自らの視点を調整することができるのでしょうか？

この文字列を見てみてください。どんな風に見えますか？ 「GODISNOWHERE」

「God is No Where (神はどこにもいない)」と「God is Now Here (神は今ここにいる)」のどちらに見えましたか？

上記の言葉をどのように見るかを変えることによって、その意味が完全に変化します。私たちに苦境を変えることはできないかも知れませんが、主からの力によって、どのように見るかを調整することはできるのではないのでしょうか？

今の状況に対するあなたの視点はなんですか？ 私たちは非力で希望がないように感じ、神様の優しさと忠実さを疑ってしまうかも知れません。私たちは神様の約束を忘れて、敵の勝利を結論としてしまうかも知れません。闇が私たちの心に注ぎ込まれてしまうかも知れません。

一方、私たちは神様が今ここにいるということをはっきりと分かることに気づくかも知れません。神様の約束に立つことによって、私たちは敵に抗い、そうすることによって敵は逃げざるを得なくなります。私たちが、自らのすべての思いを捕らえてキリストに従おうとするときに、全てが見えてきます。その時、私たちは試練の中で、聖霊が共にいて下さることを覚えて、自分たちの視点を絶えず聖なる視点へと導いて下さるように祈ることができます。

讃美歌 294

祈り お父様、あなたの言葉を話すこと、あなたの約束に立ち、あなたを信頼することを私たちに教え、世の光であるという使命を私たちが果たせるようにしてください。イエス様の御名により。アーメン。

バージー・ニーマン
ネブラスカ州 ヨーク

11月5日 (土)

イエス様は私たちを愛している

聖書朗読 ルカ 22:54~62

また、私の神は、キリスト・イエスにあるご自身の栄光の富をもって、あなたがたの必要をすべて満たしてくださいませ。
ピリピ 4:19

私たちは自分たちのすることを、なんのためにしているのでしょうか？ ヨナはどうしてニネベに逃げたのでしょうか？パウロはどうしてクリスチャンを迫害したのでしょうか？ペテロはどうして一度ならず、三度までもイエス様を知っていることを否定したのでしょうか？

今、イエス様がまっすぐあなたを見ているのを想像してください。イエス様はペテロにしたのと同じ反応を私たちにするのでしょうか？ 私たちはペテロと同じように、自分たちの罪に激しく泣くのでしょうか？ ペテロと同じように、赦しを乞うのでしょうか？ ペテロと同じように、赦されるのでしょうか？

勿論、イエス様は、私たちをペテロと同じように赦してくださいませ。感謝ですね。ハレルです。イエス様は「シモン、シモン。見なさい。サタンが、あなたがたを麦のようにふるいにかけることを願って聞き届けられました。しかし、わたしは、あなたの信仰がなくならないように、あなたのために祈りました」(ルカ 22:31)と言われました。シモンのところにあなたの名前を入れて、もう一度この箇所を読んでみてください。

私は、こう言います。「私をまっすぐ見てください、主よ。私をそばに近づけてください、主よ。自分勝手な行動をする私を赦してください、主よ。」

イエス様は私たちのことを気に掛けてくださいませ。思い出してください。神様は私たちのための非常に沢山の恵みを持っておられます(エペソ 3:20)。「すべての良い贈り物、また、すべての完全な賜物は上から来る」(ヤコブ 1:17)。私たちは自分たちの肉体がどのように墮落できるか、いつも理解しているわけではないかもしれませんが、私たちを造られたのは神様であり、神様は私たちを知っておられるのです。私たちが御許に立ち返る時、神様は私たちを愛し赦してくださいませ。

讃美歌 262

祈り 親愛なる主よ、私たちが自分たちに対するあなたの愛について深く考え、信仰を墮落させないように助けてください。私たちの罪を赦してくださいませことに感謝します。イエス様の御名によって。アーメン。

ラナ・M・クレベンジャー
テキサス州 プラノ

11月6日(日)

あなたと神様はどのような関係で結ばれていますか？

聖書朗読 ヨハネ 6:25~29

すると彼らはイエスに言った。「私たちは、神のわざを行うために、何をすべきでしょうか。」イエスは答えて言われた。「あなたがたが、神が遣わした者を信じること、それが神のわざです。」
ヨハネ 6:28~29

ある人たちは、神様を宇宙規模のホテルのボーイのように扱うかもしれません。何かをお願いして、神様がその人たちの欲しいものリストに対して「仰るとおりに」というのを期待するのです。イエス様はすぐに、この話の中の群衆がイエス様ご自身ではなく、食事を求めていることに気づきました。イエス様は人々が自分勝手な目的のために利用することを拒否しました。

群衆がイエス様に「私たちは、神のわざを行うために、何をすべきでしょうか」と聞いた時、人々は神様と契をすることによって、神様を思い通りにしようとしていたように見えます。彼らが神様の提示する「条件」に見合ったことをするならば、神様が恵みや危機の回避などをしてくださると考えたのです。しかしながら、イエス様は聞き手たちに「チェックリスト」を与えることはしません。時に私たちは、神様との関係を結ぶ手段として「条件」や「チェックリスト」を求める誘惑に駆られてしまうことがあります。つまり、このことをしたら神様はこれを与えてくださるといようなことです。

しかし、イエス様は神様と関係を結ぶ最善の方法を述べています。「信じること」です。つまり、イエス様を完全に信頼することです。人生のあらゆる状況においてイエス様に信頼することです。イエス様は私たちを愛しておられ、私たちがイエス様に従うことを望んでおられます。

讃美歌 285

祈り 父なる神様、私はこの日、あらゆる状況においてあなたを信じることに専念し、自分の思いではなく、あなたの思いを求め、それを行います。イエス様にあって、あなたが全てのお約束を果たしてくださいませという誠実さに心より感謝致します。イエス様の尊き御名により。アーメン。

バージー・ニーマン
ネブラスカ州 ヨーク